

件名	平成 22 年度国民健康保険の決算状況について（速報値）				
経緯	県内 27 市町村及び 1 国民健康保険組合の平成 22 年度の国民健康保険の決算状況をまとめたものである。参考 1 国保組合＝山梨県医師国民健康保険組合				
内	平成 22 年度の決算状況は、次のとおり。（単位：千円）				
	区 分	平成 22 年度	対前年度増減		平成 21 年度
	歳入総額 A	91,768,636	1.2%	1,044,316	90,724,320
	歳出総額 B	90,854,218	1.1%	993,993	89,860,225
	歳入歳出差引（形式収支）(A-B)C	914,419	5.8%	50,323	864,096
	国庫負担金等精算額 D	△705,863	△245.0%	△501,237	△204,626
	実質収支 (C+D)E	208,556	△68.4%	△450,913	659,469
	前年度実質収支 F	659,469	-	-	887,088
	単年度収支 (E-F)G	△450,913	△98.1%	△223,295	△227,618
	一般会計等からの繰入 H	2,712,499	△13.9%	△437,109	3,149,608
	財政調整基金への積立金 I	141,976	△15.8%	△26,674	168,650
	実質単年度収支(G-H+I)J	△3,021,436	5.8%	187,141	△3,208,577
	容	※四捨五入により不一致の場合がある			
財政調整基金保有額		3,453,703	△12.7%	△501,792	3,955,495
○ 形式収支（歳入総額から歳出総額を差し引いた額）は、9 億 1,400 万円余の黒字となり、甲府市を除く 27 保険者が黒字であった。					
○ 実質単年度収支（一般会計からの法定外繰入れ、財政調整基金の取崩し・積立てなどを加減した額）は、30 億 2,143 万円余の赤字となり、赤字額は前年度と比較して 5.8%、1 億 8,714 万円改善した。実質単年度収支が黒字である保険者は 3 保険者で、前年度と同数だった。					
○ 歳入総額・歳出総額とも約 1%増加 前年度から、歳出の 2/3 を占める保険給付費が 3%弱増加し、決算額増加の要因となった。単年度収支の黒字を維持するため、財政調整基金を取り崩した結果、保有額は前年度から約 12.7%、5 億円余減少した。					
○ 保険料(税)収納率は平成 4 年度から平成 21 年度まで 18 年連続して前年度を下回っていたが、19 年ぶりに上昇に転じた。					

問合せ先：福祉保健部 国保援護課 国保指導担当 直通 055-223-1466 県庁内線 3263